



日本赤十字社

赤十字おきなわ

第62号

2020.07



九州八県支部合同 災害救護訓練

- ・ 令和元年度歳入歳出決算報告
- ・ 日本赤十字社沖縄県支部の活動

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

令和元年度(下半期) 日本赤十字社沖縄県支部の活動

青少年赤十字大会

11月1日、浦添市社会福祉センターにおいて沖縄県青少年赤十字大会が開催されました。大会には青少年赤十字メンバー、指導者協議会、赤十字奉仕団、学校関係者など約220名が参加し、青少年赤十字メンバー功労者表彰や活動優秀校への学校表彰が行われました。また、赤十字有功会から参加者に対してオリジナルトートバックが記念品として贈呈されました。青少年赤十字加盟校の活動発表や参加者全員による全体レクで交流を深めました。



愛の心もちつき会

12月14日に沖縄中央育成園において「愛の心もちつき会」を開催しました。園生と交流を図り、迎える新年が希望に満ちたる年になるように願いを込め、毎年、年末に開催しています。園生や青少年赤十字メンバーが「ヨイショ」の声掛けで大きな杵で餅をつき、赤十字奉仕団が臼の餅をひっくり返し、餅が完成。出来上がった餅は、きなこ餅やおしるこにして美味しく頂きました。



NHK海外たすけあい街頭募金

12月21日、県庁前県民広場などで「海外たすけあい街頭募金」を実施しました。赤十字有功会役員および会員、青少年赤十字メンバーなどが参加して募金への協力を呼びかけました。同キャンペーンは、今も世界のどこかで助けを必要とする方たちを笑顔にするために、ご協力頂いた皆様の「思い」を届ける活動です。



国際救援事業

沖縄赤十字病院の高尾 実千代 看護師長を国際救援事業で南スーダン共和国に派遣しました。高尾看護師長は、令和元年12月7日から令和2年3月8日までの間、紛争犠牲者への医療活動に従事しました。

紛争などの暴力によって犠牲を強いられている人々を国際人道法に基づき、確実に支援・保護する必要があります。赤十字は、食料配布や生活の自立支援、負傷者の医療支援、避難民の保護活動等を実施しています。



沖縄県赤十字大会

1月21日、浦添市てだこホールにおいて「令和2年沖縄県赤十字大会」が開催されました。大会には、有功会役員や会員、赤十字関係者ら約600人が参加しました。式典では、これまで赤十字に多額の活動資金を寄せられた方や永年にわたり赤十字活動に貢献された方に対して有功章、感謝状等の表彰が行われました。また、赤十字奉仕団や青少年赤十字の活動が報告されました。



新規採用職員研修

県内の赤十字施設で令和2年度から新規採用が決定した職員向けの研修会を行いました。医療技術職、看護職、介護職、事務職等様々な職種の職員が参加し、赤十字の理念や事業、接遇マナーなどを学びました。また、研修の合間のレクリエーションでは、笑顔も見られ、職員間の交流を深めていました。



九州八県支部合同災害救護訓練

(令和元年11月22日～11月24日)

近年各地で頻発する災害に備え、日本赤十字社九州八県支部では、合同で災害救護訓練を実施しています。令和元年度は11月22日～24日の3日間、沖縄県にて実施しました。訓練では、沖縄本島南部を震源とする直下型地震により大きな被害が発生した事を想定し、日本赤十字社沖縄県支部内に災害対策本部を設置しました。九州各県より派遣された医療救護班を那覇市保健所、沖縄南部療育医療センター、県立看護大学、日赤安謝福祉複合施設に配置し、避難所での救護を目的とした訓練を行いました。

また、各奉仕団及びアメリカ赤十字社から多くのボランティアの皆さまも参加して頂きました。



県内で震度6強の地震が発生したことを想定



沖縄県支部
支部災害対策本部運営 (日本赤十字社沖縄県支部)



避難所運営 (県立看護大学)



福祉避難所運営 (南部療育医療センター)



九州各県の救護班到着



福祉避難所運営 (日赤安謝福祉複合施設)



スマホで外国語対応



おいしい炊き出しをありがとうございます



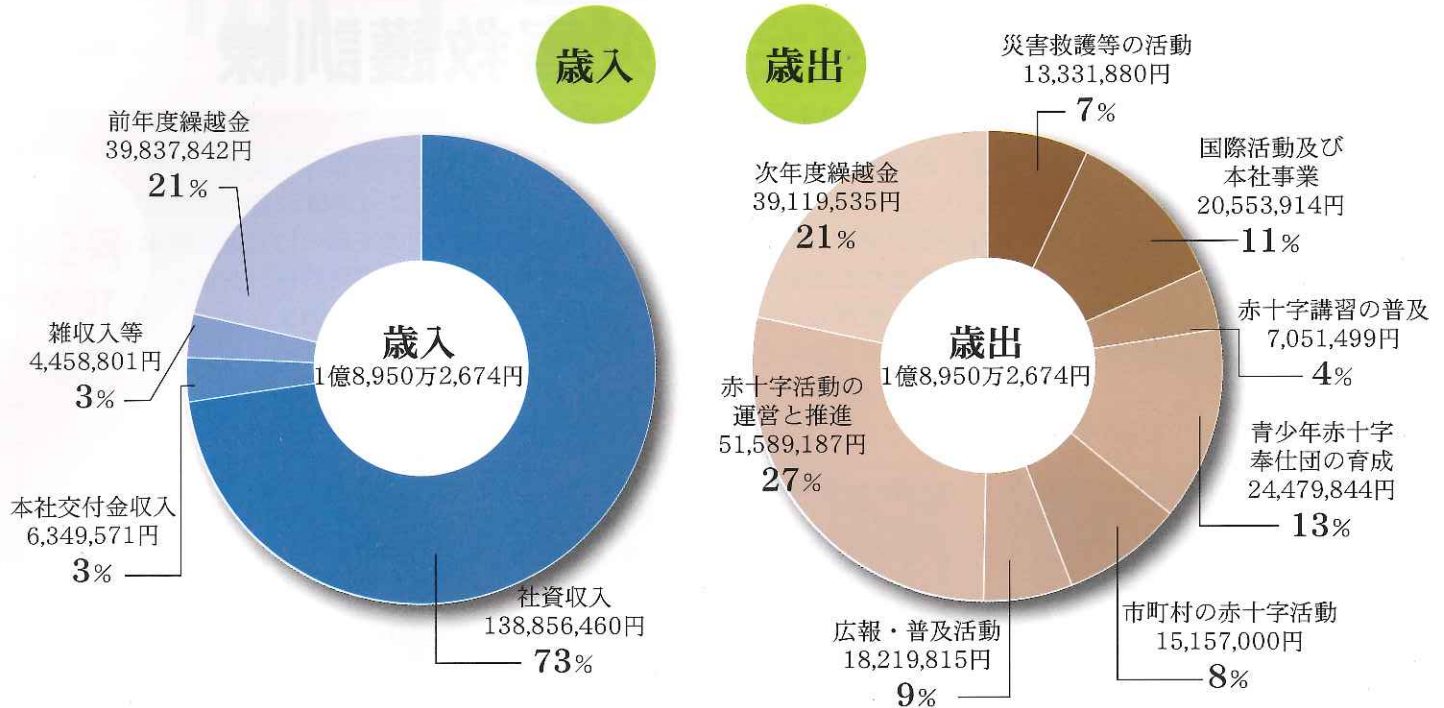
那覇市保健所職員と協力して地域災害医療本部を運営

参加・協力施設、団体

- ・日本赤十字社沖縄県支部
- ・日本赤十字社本社
- ・九州管内の各赤十字施設
- ・南部療育医療センター
- ・赤十字青年奉仕団
- ・沖縄赤十字病院
- ・日本赤十字社九州各県支部
- ・那覇市保健所
- ・沖縄県立看護大学
- ・沖繩県立看護大学
- ・赤十字地域奉仕団
- ・赤十字安全奉仕団
- ・沖繩赤十字血液センター
- ・那覇市防災危機管理課
- ・赤十字地域奉仕団
- ・赤十字安全奉仕団
- ・青少年赤十字
- ・アメリカ赤十字社ボランティア

ご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

令和元年度日本赤十字社沖縄県支部決算報告（一般会計）



令和元年度歳入歳出決算につきましては、令和2年6月に実施されました「第87回評議員会」で審議され、承認されました。

令和元年度義援金・救援金受付状況

受付名	金額
・東日本大震災義援金	2,448,250円
・平成28年熊本地震義援金	61,560円
・平成29年7月5日からの大雨災害義援金	82,855円
・平成30年7月豪雨災害義援金	1,212,010円
・平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	358,947円
・令和元年8月豪雨災害義援金	893,568円

受付名	金額
・令和元年台風第15号千葉県災害義援金	1,573,619円
・令和元年台風第15号東京都義援金	605,900円
・京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金	122,770円
・令和元年台風第19号災害義援金	15,645,591円
・2019年モザンビークサイクロン救援金	130,898円
・令和元年度NHK海外たすけあい	955,420円

※受付金額については、当県支部口座扱いのみの金額になります。

県民の皆さまからの温かいご支援により、令和元年度も赤十字活動を展開することができました。心より感謝いたします。



赤十字の活動資金にご協力をお願いします

県民の皆様には、日頃から赤十字事業に対し温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

日本赤十字社は、災害時の救護をはじめ、講習普及事業、ボランティアの育成、国際活動、医療、献血事業など、人びとの健康で安全な暮らしを守るため、幅広い活動を行っています。

これらの活動は、皆様から寄せられる活動資金によって支えられており、活動を推進していくためには、一人でも多くの方々のご協力が必要です。

何卒、赤十字の趣旨、活動の目的をご理解いただきまして、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社沖縄県支部

どうすれば赤十字に協力できますか？

- 1 毎年5月の赤十字運動月間を中心に、地域の町内会・自治会などのご協力により、ご寄付を募っています。
- 2 日本赤十字社沖縄県支部やお住まいの市町村役場の赤十字担当窓口で受付しています。
- 3 銀行からお振込みいただけます。
※手数料が免除となる専用の振込用紙がありますので、沖縄県支部までご連絡ください。
- 4 指定の預金口座から自動引落でご協力いただけます。
※専用の振込用紙に必要事項を記載していただく必要がありますので、沖縄県支部までご連絡ください。
- 5 クレジットカードの決済でご協力いただけます。
※日本赤十字社のホームページ (<http://www.jrc.or.jp>) からお手続きをお願いします。
- 6 遺贈によるご寄付や相続財産のご寄付でご協力いただけます。

表彰制度があります

日本赤十字社の活動資金にご協力いただいた場合は、その金額に応じて表彰制度を設けています。

銀色有功章	20万円以上に達した方
金色有功章	50万円以上に達した方
日本赤十字社社長感謝状	金色有功章受章後、50万円以上に達した方

※そのほか、国の表彰もあります。



税制上の優遇措置が受けられます

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税や企業などの法人税での優遇措置が受けられます。また、ご遺族が相続された財産を日本赤十字社に寄付することによって、相続税での優遇措置が受けられます。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

沖縄県支部

那覇市与儀 1-3-1 ☎(098) 835-1177

日本赤十字社沖縄県支部

検索

沖縄赤十字病院

那覇市与儀 1-3-1 ☎(098) 853-3134

沖縄県赤十字血液センター

那覇市与儀 1-4-1 ☎(098) 833-4747

日赤安謝福祉複合施設

那覇市安謝 2-15-2 ☎(098) 862-4321